

治療中の病気を持っている方

名前 _____

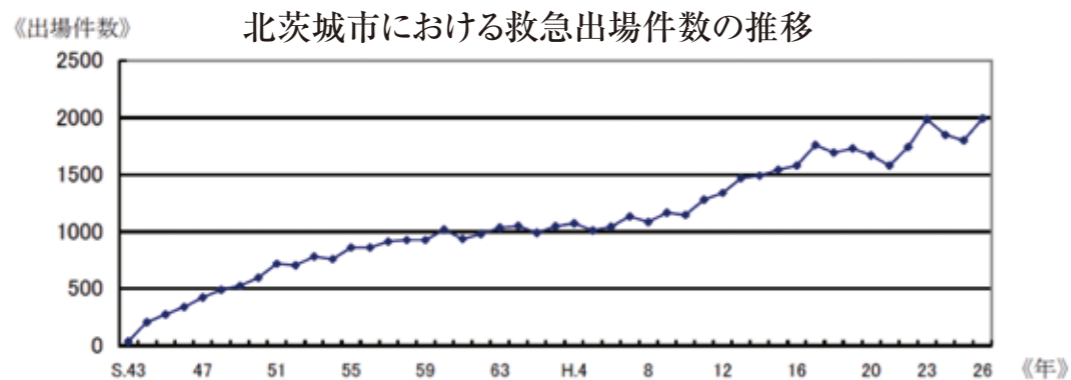
病名 _____

病歴 _____

ちょこっと情報



近年、救急車の使い方が問われています。
 平成26年の北茨城のデータによると、救急車による救急出動件数は1991件(対前年比で193件増、9.7%増)、搬送人員は1839人(対前年比で175人増、9.5%増)で救急出動件数、搬送人員ともに過去最多を記録しました。
 救急車の正しい利用方法を考え、一人でも多くの方の命が救われることを願います。
 (不適正なこんな例もあります。 例:軽度の発熱、少しの痛み、日焼けなど)



(参考:北茨城市 消防署webサイトより)

みなさんで安心できる
街づくりを目指しましょう

こんな時どうする?
 ~かかりつけ医と救急車の使い方~
 発行日 平成28年2月
 発行 北茨城市在宅医療介護連携推進協議会

こんな時どうする?

~かかりつけ医と救急車の使い方~



家族みんなのかかりつけ医を書いてね



	ご家族の名前	病院名	かかりつけ医	電話番号
1				
2				
3				
4				
5				



かかりつけ医ってなに？

“**かかりつけ医**”とは、ちょっと体調が悪い時などに気軽に診てもらって、気軽に相談に乗ってもらえることのできる、顔なじみのお医者さんの事です。



かかりつけ医があると、とっても安心です。



北茨城では、在宅で介護を必要とされている方(要支援および要介護者)の割合は、高齢者対総人口比で16.5%であり、ご高齢になると、体の変化は少しずつ変化していくので、いつもと様子が違ってなかなかその変化に気づきにくいのが現状です。また、少しの変化だと、自覚症状も乏しくなってしまうのもあるかと思います。



1

このような時は、**かかりつけ医**に相談してみましょう。



- 顔色が悪い
- 元気がない、いつもより元気がありすぎる
- おしっこの回数が少ない、色が濃い
- 食欲がない
- あまり水分をとっていない
- 痛いところがある
- 眠れない
- 熱がある
- 物忘れが多くなった
- 歩き方がおかしい

こんな時は、言葉ではない本人からの訴えかもしれません。病気が隠されている場合もあります。

かかりつけ医がいない方は…もしもの場合は、

茨城県救急医療
情報システム

029-241-4199

24時間
対応

※お近くの救急対応している医療機関をオペレーターが教えてくれます。

2

こんな時は、すぐに**救急車**を呼んでください。



- 意識がない
- うわごとを言っている
- ろれつがまわりにくく、うまく話せない
- 顔の片側がゆがむ
- 全身性のけいれん
- 繰り返す嘔吐
- 息ができない
- 突然の激痛(頭・胸・背中)
- 突然のしびれ、手足のマヒ
- 脈が非常に速い、触れづらい
- 全身に汗をかいている
- 大量の出血(口から、お尻から)



救急車

119

いつ どこで だれが
どうしたか どんな状態か

治療中の病気を持っている人は、

病名・病歴・お薬手帳・かかりつけ医・健康保険証の写しなどの情報をシートにまとめ、目に付く場所に貼っておくと、救急活動時に有効です。